

回生 ニュース

K a i s e i N e w s



社会医療法人 峰和会

92号

2017.1月発行

発行/社会医療法人 峰和会

編集/鈴鹿回生病院

所在地/鈴鹿市国府町112番地1

TEL/059-675-1212

FAX/059-675-1717

URL/http://www.kaisei.jp.com

編集協力/TCKnagaya



社会医療法人 峰和会
理事長 長谷川 静生

明けましておめでとうございます。

昨年末の米国トランプ大統領誕生は世界にとって大変衝撃的な出来事でした。これから起こるかも知れない世界の変化を暗示させる出来事なんでしょうか。今後の日本の医療界に予想される波乱含みの変化に思いを重ね合わせてしまいました。地域医療構想策定も今年度で骨子が固まり全体像が見えてくるでしょうし、平成30年度スタートの第7次医療計画、介護保険計画も今年度から詰め準備作業が始まります。カウントダウンに入った2025年問題に向けて示されたこれら数々の指針からは国の強い意志が読み取れ、変化に対

迎春

2017



応する柔軟性と機敏性が一層必要になってくると思われます。

鈴鹿回生病院では1月に病棟再編を行い、急性期病床に加え一病棟の包括ケア病床を開設稼動いたします。重症度に応じた患者対応で退院後の在宅、リハビリへの患者の流れが更にスムーズに進むものと思われます。昨年6月行なわれた亀山回生病院での介護療養病床から医療療養病床への転化も、鈴鹿回生病院を軸とした医療連携強化を念頭に置いたものがあります。今年は中期3年計画の最後の年度でもあり「地域社会との共存」が目標であると言われている地域医療構想にそって、峰和会回生病

院が今出来ることを着実に進めて参りたいと思います。

伊勢志摩サミットも成功裏に終わり、オリンピックでは日本選手の活躍が日本中を沸かしました。また最近の大隅良典先生ノーベル賞受賞の報道も、日本人として3年連続の受賞は大いに我国の存在を世界に示してくれた出来事でありました。何かと先の見通し難い時代ではありますが、今年もこの様な世界に発信する明るいニュースが飛び交う、正に「酉の年」になってくれる事を心より願うばかりです。

